



下妻特別支援学校 交流だより

令和元年度第2号



『交流及び共同学習』とは、誰もが互いに人格と個性を尊重し会える共生社会の実現を目指すために、障害の有無に関わらず、児童生徒あるいは地域社会の人たちが触れ合い、ともに活動する機会を設けることを目的としたものです。

これらの交流は本年度後期に下妻特別支援学校で実施したものです。それぞれの交流において、児童生徒一人ひとりが主体的に活動し、地域社会の人たちと交流を進めることができました。

令和2年2月21日

下妻中学校との学校間交流

10月3日(木)に下妻中学校3年5組36名の生徒と、本校中学部27名の生徒が、学校間交流を行いました。各グループに分かれ、「レクリエーションボッチャ」を行いました。始めは緊張している様子でしたが、緊張もほぐれると生徒から笑顔がたくさんみられ、試合のみならず休憩時間も生徒同士で話が盛り上がる場面もみられました。また試合では、的となるジャックボールを狙い白熱した試合が展開されました。



下妻第二高等学校との学校間交流

9月19日(木)に下妻二高JRC部49名と本校高等部34名で、第2回スポーツ交流を行いました。今回はグループに分かれて「競技ボッチャ」「レクリエーションボッチャ」「卓球バレー」を行いました。卓球バレーでは、初めて体験する二高の生徒もいましたが、体育の授業で学習している本校の生徒の動きを見ながら、少しずつ覚えて楽しむ様子が見られました。互いに手を取り合い、声をかけ合いながら、協力してスポーツをすることができました。



裏面もあります

国際交流・ワールドキャラバン

12月12日(木)に、高等部でワールドキャラバンを行いました。ワールドキャラバンは、外国の言語や生活、ものの見方等について興味関心を広げることができることを目的に実施しています。講師の方々の故郷紹介を聞き、各国の景色や学校、食べ物、遊びなど、外国の文化について知ることができる機会となっています。今年は、講師としてフランス出身で茨城県国際交流員のローラ・ジャンさんとエクアドル出身で茨城県留学生親善大使のゴメス・アラウホ・ターニャ・ステファニアさんの2人を迎え、フランスとエクアドルについて色々な話を聞くことができました。日本との違いクイズやフランスのジャンケンなど生徒たちも楽しく学んでいる様子が見られました。



地域交流・花いっぱい活動

10月25日(金)に第3回花いっぱい活動を行いました。下妻市青年会議所、下妻市婦人会上妻支部、下妻市社会福祉協議会のボランティアの皆さんと今回一緒に植えたのはパンジーとビオラの苗です。できあがったプランターは下妻市役所や郵便局、道の駅など、公共の施設に設置しました。冬を越えて春まで、地域の人たちの心を和ませてくれることでしょう。



地域交流・寄宿舎見学と秋の調べ鑑賞会

9月30日(月)に地域の方20名と舎生13名で寄宿舎地域交流を行いました。第1部は、寄宿舎を知っていただくため概要説明と施設見学。第2部は、講師をお迎えしてバイオリン演奏の鑑賞と秋の童謡と一緒に歌いました。参加された方々からは、バイオリンの演奏が素晴らしい、舎生との合唱が良かった、また寄宿舎がどんな所か初めて知ることができた等の感想を頂きました。終了後に、お礼として舎生から手作りメモ帳を渡し、一人ずつ握手をしながら見送りをしました。

